

発行所 西蒲原郡 巻町公民館 編集人 北川 郡司 印刷所 北洋印刷株式会社

地財法の適用がトツプ

公民館の統合は三位

町の五大ニュース

昭和三十一年もあと数日にして暮れようとしています。今年の巻町は平穩無事に過ぎたようにみえます。しかし実情は地財法の適用を始め連合青年団の結成、又意外な稲作の問題など物心両面幾多の問題が明暗織りなして起つております。私たちはこれらの問題の中で、どれが一番大きな問題として受けとつたでしょうか。昭和三十一年を送り、新しい年を迎えるに当り輝けるこの一年をふりかえり反省の機会にいたしたい

- 阿部 幸七 福井
- 一、彌彦初詣の惨事
 - 二、漆山分町問題落着
 - 三、皇太子様巻通過
 - 四、地財法による町政改革
 - 五、意外なる凶作

今年の大ニュース

- 一、地財法の適用
- 二、町の機構改革
- 三、公民館の統合
- 四、巻町連合青年団の結成
- 五、稲の不作
- 六、高校五十周年記念
- 七、プール建設促進委員会結成

- 一、皇太子様御通過
- 二、役場機構改革
- 三、丸善のスト
- 四、プール建設促進同盟結成
- 五、高校五十周年記念
- 一、地財法の適用
- 二、支所廃止
- 三、教育委の任命
- 四、畑地灌溉
- 五、農業委員会の統合

- 一、巻町連合青年団結成される
- 二、各支所を廃止して中央巻で一本化する
- 三、地区公民館を廃止して巻町公民館一本化する
- 四、任命制による巻町教育委員会発足
- 五、地方財政再建促進特別措置法適用される
- 一、地財法の適用を受けたこと
- 二、冷害、台風による意外の不作
- 三、巻町連合青年団の結成
- 四、公民館の機構改革
- 五、砂丘地における畑地灌溉の問題

- 一、秀寛 大原
- 二、公民館の統合
- 三、連合青年団の発足
- 四、河井地区整理組合とプール建設
- 五、漆山小学校の増築
- 一、各地区の支所廃止
- 二、公民館の機構改革
- 三、巻町連合青年団結成
- 四、旧峰岡地区公民館の婦人学級が文部省指定学級となる。
- 五、巻町連合婦人会誕生の胎動
- 一、公民館統合
- 二、木村教文芸記念講演会
- 三、巻町連合青年団結成
- 四、町立病院一周年記念
- 五、図書室(巻文庫)
- 一、巻町機構改革なる
- 二、赤字解消に伴う地財再建法の適用
- 三、角田地区砂丘地灌溉問題
- 四、巻町連合青年団の結成
- 五、各地に於ける台風九号の被害甚大
- 一、支所廃止
- 二、地財法の適用
- 三、公民館の統合
- 四、皇太子巻町を通過

- 一、稲の不作
- 二、井田東一 竹野町
- 三、支所の廃止
- 四、公民館の統合
- 五、農業委員会の統合
- 一、地財法適用
- 二、畑地灌溉問題
- 三、役場各支所廃止
- 四、公民館機構改革
- 五、稲作不作、小鯛大漁
- 一、木村教、公民館の招きに於いて小学校に文芸講演
- 二、巻町連合青年団結成に於ける北村知事
- 三、巻町連合青年団発足
- 四、巻町文庫(公民館図書室)十周年記念
- 五、公民館の統合
- 一、巻町財政の赤字を退治し、建直しの地財法の適用
- 二、巻町連合青年団の結成
- 三、巻地区プール建設委員会が発足と活潑な活躍(店会とタイアップ)
- 四、全国的として第三番目の豊作といえども巻町では台風や冷害のための不作
- 五、たから祭の大売出しの不況(昨年との二

- 一、千種 秀夫 巻
- 二、全国的として第三番目の豊作といえども巻町では台風や冷害のための不作
- 三、巻町役場の機構改革(支所廃止や人員整理等)
- 四、巻町連合青年団結成
- 五、新教育委員会の発足と県教育委員に倉品克一郎氏が選任されたこと
- 一、巻町東映劇場の開館
- 二、花まつりの復活
- 三、巻町地財法の適用
- 四、巻町プール建設運動の推進
- 五、巻町創立五十周年記念
- 一、支所廃止
- 二、地財法設定
- 三、越前小学校
- 四、並木横岡部落統合
- 五、消防署新設

- 一、桑原五三郎 湯頭
- 二、支所全廃並びに三役後退
- 三、角田地区の畑地灌溉問題
- 四、消防署の更迭
- 五、地財法の適用
- 一、巻町議会が地財法の適用を決定した
- 二、巻町公共事業拡充協議会が結成され巻地区においてはプール建設への具体的な運動が展開されたこと
- 三、巻町役場の機構改革(支所廃止や人員整理等)
- 四、巻町連合青年団結成
- 五、新教育委員会の発足と県教育委員に倉品克一郎氏が選任されたこと
- 一、巻町東映劇場の開館
- 二、花まつりの復活
- 三、巻町地財法の適用
- 四、巻町プール建設運動の推進
- 五、巻町創立五十周年記念
- 一、支所廃止
- 二、地財法設定
- 三、越前小学校
- 四、並木横岡部落統合
- 五、消防署新設

- 一、巻町連合青年団発足
- 二、巻町文庫(公民館図書室)十周年記念
- 三、公民館の統合
- 四、消防署の設置
- 五、無名
- 一、地財法適用
- 二、畑地灌溉問題
- 三、役場各支所廃止
- 四、公民館機構改革
- 五、稲作不作、小鯛大漁
- 一、木村教、公民館の招きに於いて小学校に文芸講演
- 二、巻町連合青年団結成に於ける北村知事
- 三、巻町連合青年団発足
- 四、巻町文庫(公民館図書室)十周年記念
- 五、公民館の統合
- 一、巻町財政の赤字を退治し、建直しの地財法の適用
- 二、巻町連合青年団の結成
- 三、巻地区プール建設委員会が発足と活潑な活躍(店会とタイアップ)
- 四、全国的として第三番目の豊作といえども巻町では台風や冷害のための不作
- 五、たから祭の大売出しの不況(昨年との二



- 一、竹内 敏栄 巻
- 二、巻町東映劇場の開館
- 三、花まつりの復活
- 四、巻町地財法の適用
- 五、巻町プール建設運動の推進
- 六、巻町創立五十周年記念
- 一、支所廃止
- 二、地財法設定
- 三、越前小学校
- 四、並木横岡部落統合
- 五、消防署新設

昭和三十一年の日本の産業界は、戦前戦後を通じて最大の生産と好況の年であった。と新聞は報じている。その中で、私たちがとりまく環境では、そんな印象はどこからも受けとれない。巻町を中心としたこの地帯では、いかに附近の米の豊凶に動かされているかが「うかがわれる」。昭和二十五年のあの「イモチ」病の大発生より今年の不作は痛かつた。こんな状態に落ちても、私たちのために何がなされているだろうか。昭和二十八年の山間地帯では、一戸平均二十俵位の取り不足で「冷害凶作だ」と国の温い手がのびたのだ。五十俵位取り不足の農家がある。この年、この頃、国会どころか、税務署はこんな中でも所得税を増そうとねらっている。農業事業税の増も大きい。「仕方がなかつた」と諦める色が広がっている。来年の増産だけが私達を「ささえ」てくれるものか。



昭和三十一年の日本の産業界は、戦前戦後を通じて最大の生産と好況の年であった。と新聞は報じている。その中で、私たちがとりまく環境では、そんな印象はどこからも受けとれない。巻町を中心としたこの地帯では、いかに附近の米の豊凶に動かされているかが「うかがわれる」。昭和二十五年のあの「イモチ」病の大発生より今年の不作は痛かつた。こんな状態に落ちても、私たちのために何がなされているだろうか。昭和二十八年の山間地帯では、一戸平均二十俵位の取り不足で「冷害凶作だ」と国の温い手がのびたのだ。五十俵位取り不足の農家がある。この年、この頃、国会どころか、税務署はこんな中でも所得税を増そうとねらっている。農業事業税の増も大きい。「仕方がなかつた」と諦める色が広がっている。来年の増産だけが私達を「ささえ」てくれるものか。



「農民文学」について

もともと文学は一つのものであつて「農民文学」などという肩書きの文学はないわけだが、あえて「農民文学」なるムシロ旗をたてなければならぬのは極言すれば伊藤永之助氏のいうように「日本の文学は東京文学ともいふべきもので一地方の文学であり国民の半数に近い農民と農村を全く反映してない」奇型な日本のブندانからくる特性であり、鶴田知也氏のいうように後世の人達が今の文学を読んだ場合かならず「昭和の時代は色情狂時代」だつたと批判する「だろう」ということに端的に表現されていると思ふ。

「麦の会」が村の知識人にも忘れ去られて数年後農民作家三十数氏が発起人となり「日本農村文学会」が結成されて二年余り季刊雑誌「農民文学」も八号が発行されようとしている。ことに農民文学の空白地帯だといわれている。

た新潟県でも発足当時数名だつた会員が現在では三百名近くになりまた支部も高田、長岡、柏崎とでき参地区に於てもその実現が夢でなくなつた。

も極めて熱心な人達ばかりであり、カルチャ(文化)とアグリカルチャ(農業)との関連性を統一につかんでいふ、というのが過言なら少なくともその方向に沿うよう努力しているといふことは言ひ得る。

無視したアブノーマルな日本の消費文学を是正し、都市と農村、中央と地方とが対立するよゆうなこともなくなり生産者たる農民が忘却され思想感情の表現たる

労働相談所

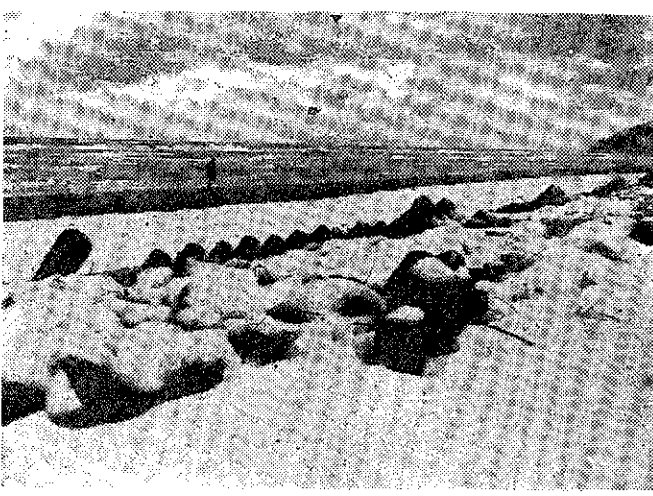
楽しく生きるために

御存知でしょうか。労働相談所は、工場や商店等の職場に働く人達とその人達を使う事業主との間のいろいろな労働問題の御相談にに応じております。使用する人と働く人

との関係は、なかなか複雑でやつぱいな問題がおこりやすいのです。これらの問題、つまり賃金、解雇、あるいは働く人達がどうしたら気持ちよく働くこと

が出来るかというよゆうな条件などについての要望や改善、又使う方の人の日常困つてゐる問題などについての、相談や指導に當つています。

今月は例によつて一ケ年の町のニュースを取りあげた、紙面にも表われているように、いかにこの一ケ年が平穏だつたかがうかがえると思ふ。



荒海

たけりたつ波濤が、思いきり磯にくだけて、霧のようにあたりに降りそよぐ。雪雲が黒く、低くたれてそのせいか海鳴りも一きわすさまじさを加えてきた。そしてとうとう雪となつて、峠越えのバスも朝出たまゝもう帰つて来なかつた。

だがそれと同時に、家庭的なだんらんがこれに代わります。出稼に出ていた仲間が帰つてきて正月に入ると、娘たちはコヤドに集まつて談笑に夜をふかして遊ぶ。大人たちも、綱つくりなどしながら、夜は湯もらいにしばしば時の過ぎるのも忘れて語り合ふ。

炭焼きももうしまひ。すっかり鎖された生活に入つたのだと、人々は心に決めて働く、たくましい主婦や



(五ヶ浜)

たこ箱で、思いがけない金がかろげこむこともあるが、大方はきびしい一年のくらしの、いわば憩の一ときを村中あげて賑しむのがこのシーズンといえる。

市日は午後三時迄

巻の市日は午後三時迄となりました。出店者が午後三時に店終りいたしますので、それまでにお買物を済されるようお知らせいたします。

編集後記

尚今月は歳末でありますので今月に限り三十日に市がたちます。

電話 新潟2局六、四 七一番